

5/23
本誌

壊される 非正規

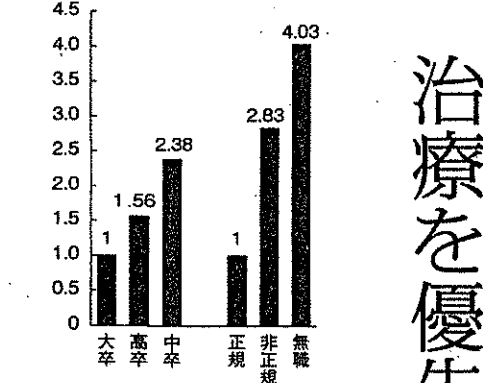
新型コロナと氷河期世代

1面のつづき

異変に気付いたのは40歳のとき。首にできるものができ病院へ行く。血糖値が高く治療が必要だと言われました。

「どこかがおかしい。不安を感じつつ経済的事情から通院をがまんしていた藤木さん。45歳のとき、人づてに城北病院(全日本民医連加盟)なら収入が少ない人でも診てくれると聞き、受診。無料低額診療を利用しました。結果は「即入院」でした。

当時診察した助也寸志(あきみ・やすし) 副院長



2012年3月末時点で20-40歳だった全2型糖尿病患者を解析対象とした全日本民医連の調査から作成

治療を優先できない雇用

「結果は「即入院」」
「どこかがおかしい。不安を感じつつ経済的事情から通院をがまんしていた藤木さん。45歳のとき、人づてに城北病院(全日本民医連加盟)なら収入が少ない人でも診てくれると聞き、受診。無料低額診療を利用しました。結果は「即入院」でした。

「何度か正社員になりたいと思ったこともあったけど、派遣から正社員になれる会社はなかった。正社員なら定期健診も受けていたろうし、こつこつ体にもならなかったのかなとは考える」(藤木さん)

「透析患者を攻撃し、社会保障の削減を求める江崎氏の書」
透析患者を攻撃し、社会保障の削減を求める江崎氏の書



「コロナに感染すれば死ぬ危険が高いし、長い距離が歩けないので買い物でスーパーに行ってもいすに座ったり立ったり繰り返す。透析があるので遠くへの旅行も難しい。公共料金が安くなっても自分には関係ない。透析患者になると得た収入は自分がなっていない」(佐久間亮)

「透析患者を攻撃し、社会保障の削減を求める江崎氏の書」
透析患者を攻撃し、社会保障の削減を求める江崎氏の書